

令和元年度 文京区教育研究奨励費受給者の決定について

1 丹羽教育研究奨励費（個人研究奨励）

[受給者] 文京区立小日向台町小学校 金井 麻衣子 主任教諭

[研究主題] 「できる楽しさや喜びを味わい、自己肯定感を高めることで
主体的に運動に取り組むことができる体育学習」
－ 「小型ハードル走」の学習を通して－

2 石黒教育研究奨励費（グループ研究奨励）

[受給者] 文京区立第九中学校 千葉 孝充 主任教諭・他10名

[研究主題] 「特別支援学校のセンター的機能を活用した授業改善」
～将来を見据えた主体的な作業学習の実践～

文京区教育研究奨励事業（石黒賞・丹羽賞）について

令和2年2月

＜石黒教育研究奨励賞・丹羽教育研究奨励賞の由来＞

○前身となる教育研究奨励賞は昭和37(1962)年より実施していた。

○平成10年、元文京区立真砂小学校第10代校長 故石黒 ミナ 氏の遺志により、遺産管理人「石黒ミナ記念会」代表土屋公献氏より文京区の教育振興のための基金の寄付を受け、平成11年度から優れた研究成果をあげたグループに対して「石黒教育研究奨励賞」として授与することとなった。

(研究奨励費1グループ10万円 [平成16年度より])

※「石黒教育研究奨励賞」として今年度で21回目

(教育研究奨励賞として今年度で55回目)

○ 丹羽教育研究奨励賞は昭和46(1971)年より実施し、今年度で48回目。

文京区教育委員会第6代教育委員長 丹羽 博 氏の遺志により、遺族より文京区の教育振興のための基金の寄付を受けたことに基づき、文京区教育研究奨励事業として、優れた研究成果をあげた個人に対して「丹羽教育研究奨励賞」を授与することとした。(研究奨励費1人5万円 [平成16年度より])

○ 本研究事業は、自主的な研究グループや個人の育成をねらいとし、授業研究に基づいた実践的な研究を指導主事の指導・助言のもとに行うことにより、文京区基本構想「文の京の明日を創る」及び文京区教育ビジョン「個が輝き共に生きる文京の教育」の具現化を図っている。研究成果は「研究の歩み」として各学校に配付する。